

楞嚴寺(県・町指定文化財を所蔵)



善住寺「木造阿彌陀如来座像」(県指定重要有形文化財)

新温泉町には住民によって長年大切に守られてきた文化財が多く存在します。平安時代初期に造られたとされる相応峰寺の国指定文化財「木造十一面観音菩薩立像」をはじめ、県指定文化財としては、正福寺の「木造不動明王立像」や善住寺にある室町時代初期の一木造り「木造阿彌陀如来坐像」、正楽寺の「鯛口」などがあります。

その他、南北朝、室町時代の貴重な書物が所蔵されている楞嚴寺や泰雲寺にある樹齢推定250年のしだれ桜、江戸時代の廻船を知る民俗資料として価値の高い為世永神社「船絵馬」など、どれもが町の歴史に欠かすことのできない貴重な文化遺産となっています。

住民により守られてきた、町が誇る歴史文化遺産。



先人記念館以命亭



泰雲寺しだれ桜(県指定天然記念物)



正福寺桜(町指定天然記念物)



正福寺「木造不動明王立像」(県指定重要有形文化財)



相応峰寺「木造十一面観音菩薩立像」(国指定重要文化財)



正楽寺「鯛口」(県指定重要有形文化財)



牛峰寺「蔵王権現像」(町指定有形文化財)



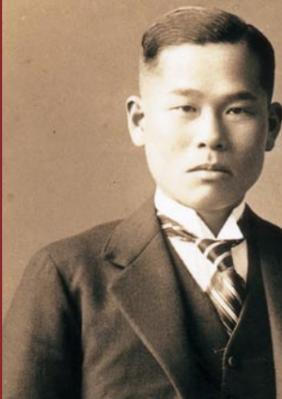
為世永神社「船絵馬」(町指定有形文化財)

東京高等師範学校時代に機関誌「明星」に作品を発表し与謝野鉄幹や晶子らと共に活動した他、多くの短歌や詩、童謡の作詞、作曲なども手がけました。諸客の浜、基幹集落センター、春來峠には彼の歌が刻まれた石碑が立っています。

東の啄木、西の翠溪(純孝と並び称された) 前田純孝 (1880-1911)



前田純孝「歌碑」



単独登山のバイオニア 加藤文太郎 (1905-1936)

文太郎が登山に開眼したのは、神戸の三菱内燃機製作所での勤務時代で、その後、日本アルプスをはじめ40数回の単独登山を成功させ「単独行の加藤」「不死身の加藤」と呼ばれました。日本山岳史に不滅の足跡を残した文太郎の生涯は、後に新田次郎氏の名作「孤高の人」で紹介されています。

若くして書壇に頭角をあらわし、戦後は中国古典や文房古玩を研究しながら日展の特選審査員や大東文化大学の講師も務めました。さらに「奎星会」会長として書道に関する著書の出版や後継書道家を輩出するなど、書道会の発展にも尽力しました。

現代書道の先覚者 宇野雪村 (1912-1995)



郷土が育んだ多くの先人。新温泉町は多くの優れた先人の故郷です。才能溢れた明治期の歌人・前田純孝や単独登山家の加藤文太郎、前衛書道家の宇野雪村をはじめ、各分野から優れた人材を輩出しています。郷土が育んだ先人の活力溢れた人間像は新温泉町住民の誇りです。新温泉町では、現代に暮らす私たちが、先

人について学ぶことを生涯学習の一つに位置づけています。七釜屋森家の屋敷を改修し、先人に関する多くの史料を展示する浜坂先人記念館「以命亭」では、そんな時代を先駆けた先人たちの足跡を辿ることができます。また新温泉町では、先人の功績を顕彰すると共に、次代を担う人材の育成、短歌や書道の普及を目的に、「全国公募「前田純孝賞」、「宇野雪村賞」全国書道展を開催しています。

歴史文化 History and Culture